



教育相談の充実について



～児童生徒一人一人に対して、きめ細かな対応をしていきます～

現代社会の大きな変容の中で、家庭の教育力や地域社会の機能の低下が著しく、また児童生徒の抱える問題が多様化し、深刻化する傾向も見られます。とりわけ、スマートフォンや携帯電話をめぐっては、ネット掲示板やSNS等での誹謗中傷や仲間はずれといったいじめなど、児童生徒が巻き込まれるトラブルや事件が多発しています。様々な悩みを抱える児童生徒一人一人に対して、きめ細かく対応するためには、学校とともに、多様な専門家の支援による相談体制を作っていくことが大切です。

愛知県教育委員会では、児童生徒や保護者等がいじめの問題や家庭教育についての相談ができるよう、各種相談窓口を設置しています。いつでもご相談ください。



愛知県教育委員会 教育相談一覧
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyoiku-kikaku/kyoiku-soudan.html>



教育は
未来へつなぐ
希望の輪



ホームレスの方への理解を深めましょう

～どうしてホームレスになってしまうのか～

愛知県内のホームレス数は、平成30年1月の調査で245人が確認されました。これは初めて全国調査が行われた平成15年1月の調査の2,121人から1,876人の減少となっています。

現在確認されているホームレスの方の多くは名古屋市など大都市圏に偏っている一方、いくつかの市町村でも、少数ですがホームレスの方が確認されています。

どうしてホームレスになってしまうのでしょうか?その生い立ちには、幼いときに家族を失ったり、病気やけが等により仕事を失ってしまったなどの背景がある場合もあります。

そして、困難な状況になったとき、誰にも相談できないまま、社会から孤立してしまい、結果として住む場所までも失ってしまった場合があります。一度住む場所を失ってしまうと、再び元の生活を取り戻すには多くの問題を解決しなくてはなりません。

多くのホームレスの方は、ホームレスの自立支援施策や生活保護などを活用し、住まいを確保し、ホームレス状態から抜け出すことができました。

しかし、それだけでは、社会から孤立している状況に変わりありません。地域や社会の中で生活続けるためには、社会や人とのつながりを作っていくことが必要となります。

ホームレスへの理解を深めて、ホームレスを生まない社会にしていくためには、私たち一人一人が考えていくことが大切ではないでしょうか。地域で生活する私たちもお互いに支え合い、助け合える関係にあることがとても大切です。

そのうえで、自分の中にある偏見と向き合い、誰もが暮らしやすい社会を目指して、私たちに何ができるかを考えていきましょう。

愛知県内のホームレス数の推移

